



ロータリーに
輝きを



川崎大師ロータリークラブ週報

第 42 期
 会 長 竹中裕彦
 副会長 坂東保則
 幹 事 岩井茂次
 S A A 飯塚元明

例会場: 大本山川崎大師平間寺信徒会館
 例会日: 毎週水曜日 PM12:30
 事務局: 〒210-0812 川崎市川崎区東門前 1-15-10 カーサ石井 1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://kawasakidaishi-rc.com/> E-mail: daisi-rc@eagle.ocn.ne.jp

第 2027 回 (本年度 第 21 回) 例会 平成 26 年 11 月 26 日 雨

- 司会 飯塚 元明 SAA
 - 点鐘 竹中 裕彦 会長
 - 斉唱 ♪ソングリーダー 増田 昌美 会員
- 「奉仕の理想」



卓話者の紹介 牛山 裕子 会員

Chiswick&Brentford RC 田中 ソロウエイ 明美 様

来訪ロータリアンの紹介 矢野 清久 親睦委員

横浜鶴見北 RC 鈴木 元一郎 様

下館 RC 神山 芳子 様

今週の花言葉 横山 俊夫 花委員長

マーガレット 花言葉・・・「心に秘めた愛」

北アフリカ沖のカナリア諸島原産の半耐寒性多年草で、日本には明治末期に渡来した。

誰からも親しまれ、好き、嫌い、好き、と交互に言いながら花びらをちぎり、恋の成就を願う恋占いの花です。



会長報告 竹中 裕彦 会長

① 神奈川県交通安全協会より「地域の交通安全と事故防止の貢献」に対し表彰状を頂いております。

② ローター米山記念奨学会より、11名の皆様に「米山功労者感謝状」が届いております。米山功労者第5回マルチプル 布川会員、炭谷会員

米山功労者第3回マルチプル 竹田会員、横山会員、石渡利治会員

米山功労者第2回マルチプル 岩井会員、伊藤会員、石渡勝朗会員、水口会員、須山会員

第1回米山功労者 船木会員

③ 第11回グレン&千杯のお礼状が、ホストクラブの久留米北RCより届いております。

④ 大本山川崎大師平間寺様より、11/3付で出井宏樹会員が執事長にご就任なさいました。おめでとうございます。



幹事報告 岩井 茂次 幹事

- ① 次週12月3日は年次総会を開催いたします。
- ② 新年1月8日「新春4クラブ合同例会」が行われます。
12月17日までに出席の締切となります。
- ③ 他クラブの「会報」「例会変更」が届いております。

委員会報告

親睦委員会 矢野 清久 親睦委員長

12/17日に年忘れ家族会移動例会が有りますのでたくさんの方のご参加をお待ちしております。

なお本日例会終了後、親睦委員会を開催しますので、出席対象者はお集まり下さい。

ゴルフ同好会 白石 浩司 同好会委員長

明日、第一回竹中年度ゴルフコンペを行います。出席者の皆さん、宜しくお願いします。

出席報告 前田 良賢 出席委員長

2027	回	58	47	31	16	65.96	%
2025	回	57	45	27	18	60.00	%
前々回の修正・メイクアップ				9	修正出席率	80.00	%

メイクアップ

野沢・林・白石・矢野・石渡(勝)・小林・牛山・内田
渡部 各会員

スマイルレポート(ニコニコボックス)

坂東 保則 副会長

横浜鶴見北RC 鈴木 元一郎 様

お久しぶりにお邪魔させていただきました。

田中様の卓話楽しみに拝聴させていただきます。

小林 勇次 プログラム委員長

田中様本日の卓話お願いします。

渡辺 富士夫 会員

大変寒くなりました。風邪にご注意ください。

牛山 裕子 会員

田中明美さんようこそ。貴女の東日本大震災孤児達へのお気持、活動を発表する場としてこの例会をご活用ください。

竹中 裕彦 会長

1. 先週の漢城RCご来訪に際し、懇親会にご出席頂いた皆様お疲れ様でした。
2. 田中・ソロウエイ・明美さん、卓話宜しくお願ひします。
3. 明日のコンペ、天気が良く暖かいといいですね。

本日のニコニコのテーマ

田中ソロウエイ明美様、ようこそお越し下さいました。

本日の卓話宜しくお願ひ致します。

中村 孝・矢野 清久・坂東 保則・増田 昌美
伊藤 佳子・前田 良賢・沼田 直輝・竹田 正和
炭谷 博功・高濱 玲奈・布川 二三夫・石渡 勝朗
出井 宏樹・宮沢 和徳 各会員

本日の卓話

田中ソロウエイ明美 様

イギリス在住20年です。仕事は、英国・ロンドンにてイギリスだけではなく、アメリカ、カナダ、オランダで、日本の文化と日本語を紹介しています。まずはTBSで流されたニュースを見て頂きます。東日本大震災で孤児になってしまった子供達をイギリスに招待しました。私の生徒、日本語を勉強している生徒達が、応援で募金活動もしてくれました。

私はロンドンのロータリーアンですけれども、ロータリーのモットーは「困った人を助ける」です。そして私たちは日本人です。ロータリーは世界中で色々な素晴らしい事を行っています。で、外国にいて思う事、ロンドンに暮らし

ていて思うことは、日本人として何ができるか、特に子供達に、マリアちゃんの場合はご両親、お祖父ちゃん、お祖母ちゃん、妹、ペット、家全部無くした訳です。孤児は245人、一体現状はどうなのか。

私達エイドフォーージャパンという団体はイギリス政府の認可の基に立ち上がりました。イギリス人が、イギリスの会社が寄付をすると税金控除になります。イギリスの人達の寄付が現在のところ95%位で、イギリス人から助けられています。ロータリーアンとしてロンドンの近くのロータリークラブを回って私たちの活動を紹介しています。

私たちは立ち上がったばかりで、お金はないんですけども、これでいいと思います。子供達の笑顔、今マリアちゃんには笑顔が戻りました。

これからどのように子供達を助けて行くか、昨日は福島にいました。福島で四軒を回りました。全部孤児です。大体がお祖父ちゃん、お祖母ちゃんと暮らしています。でもお祖父ちゃん、お祖母ちゃんは70歳、69歳で孤児は7歳、8歳。政府からの一時金は最初だけでその後支援は何もありません。仮設住宅にお祖母ちゃんと二人で住んでいる男の子もいます。

夏休みに子供達を集めて、今年は葉山に、イギリスからボランティアが来て、三泊四日一緒に過ごしました。11歳の女の子、マナミちゃんはお母さん、お父さんがいません。最初はションボリしていましたが、最後の日に海でイギリス人達と一緒に笑顔で遊びました。写真も沢山撮りました。それで、マナミちゃん(11歳)が帰ってから、お祖母ちゃんに電話をしました。お祖母ちゃんは自分の娘を無くしている訳です。孫マナミちゃんと一緒に暮らしていて、「震災後はマナミが笑わなくなって、あまり喋らなくなったけれども、合宿から帰ってきたら、本当ににこにこ笑ってこんなに楽しかったという話をしました。」、そんな話をイギリス人のボランティアに話して、皆が満足です。お金だけでは、子供たちの笑顔はお金では戻ってきません。そのように実行して、イギリス人の心に接して、皆で楽しく過ごしてマナミちゃんは笑顔が戻りました。

ロータリーアンとしてこれからしたい事は、私たちが大体15名の孤児たちを把握しています。そのうち昨日は四

軒回りました。一回会った孤児と関係者には2週間に1回電話をしています。大丈夫ですかと。小さい子で7歳、大きい子は19歳、皆さん考えて下さい、自分もご両親が、お祖母ちゃん、お祖父ちゃんが突然誰もいなくなったらどうしますか。子供達は成長して行きます。高校、大学、教育費かかると思います。でも私達はちゃんとその子供達の状況を把握しているので、どのようにその子供達を助けて行ったら良いのか分かります。それで、イギリス人達と一緒に活動している訳ですけれども、皆言う言葉は「例えばその子たちが結婚する時もお金が必要でしょう。お祝いの言葉もイギリスから持って行けます。そして、その子供達に子供が生まれる時もイギリスから応援ができる」と。

日本でこれから毎年、夏休みに葉山で合宿をしようと思います。この活動をしていたら、今245名いる孤児たちも段々私たちの活動を知って、連絡を取ってくると思います。今の所全然知られていない段階なので。その孤児達の活動を私達は見守る事が出来ます。どんな風に成長していくかな、二十歳の成人式どうかな。大学卒業大丈夫かな。私が思うのはロータリーの方々はある意味で地元のリーダーです。そして人生のリーダーになれると思います。またはアドバイザー、だからその孤児の女の子、男の子を見守って、お父さんやお母さんにはなれないけれども、アドバイザーとして。

子供達は国の未来です。日本にいながら、イギリスからの応援の気持ちをいっぱいもらって今生きています。大丈夫だよ、イギリスから応援しているからねと。イギリスの事をあまりご存じではないと思うんですけども、イギリスはNHS制度がありまして、国民全員医療費が無料です。医療費は全然かかりません。比較的生活が安定しているので、イギリスの国全体が皆暖かい心で満ち溢れているんです。自分たちの生活を心配する必要がないので。そういう人たちに囲まれて私は生活しているので、皆が日本の子供たちの為にお金を集めよう、その子たちと会って、皆自分達でお金を使って、航空費用を貯めて葉山に今年の夏にも来たわけです。若い子はバイトしてお金を貯めて航空券を買って、そういう風にして皆さんはとても幸せです。自分達のする事によって子供達の笑顔プラス将来の希望、可能

性を与えてあげることが出来ることを分かっているからです。

昨日も四軒訪ねて、子供達に言えるのは「大丈夫ですよ、イギリスからはエイドフォージャパンという団体が 10 年後、20 年後、30 年後も応援していますからね」と、子供達に言えるのは凄く嬉しいことです。夏休みの合宿の時にもイギリスから若い子供達が集まります。その子供達と日本の孤児達との友情が深まって行くと思います。

孤児達が集まり、その関係者のお祖母さんも一緒に集まります。三泊四日一緒の時間を過ごします。そうすると子供達は子供達で集まって話をします。皆同じ境遇です。両親を失ってしまった子供達をケアしているお祖母さん達も皆同じ状況です。これから年齢をとって子供達はどうなってしまうのだろう。合宿することによって、私達と子供達の絆も深まります。

これ(エイドフォージャパン)を進めて行くことによって、日英の友好も深まるのではないかと思います。ロータリークラブ、ロンドンのロータリークラブへも将来は日本のロータリーアンがいらっしゃって、この活動を支援したいなという、別に全員じゃなくて良いんです。同意して頂けるだけでも。このような機会に私達の活動を知って貰えて、かつ志があって、日本の子供達に夢と希望、親を亡くしてしまった子供達に夢と希望を与える、そのような事がロータリーアンとしてできたら、私は日本人としてロンドンから日本の子供達と話しをしていて、きっと日本の未来に、イギリスとの関係にも役に立つと思います。

イギリス英語も日本の人達にもっと知って欲しいです。日本は戦争に負けて全部アメリカ英語になってしまったのですけれども、イギリスに留学する日本の若者皆さん素晴らしいです。私達の活動に賛成してくれて、何かあるとボランティアで来てくれる日本の若者たちはロンドンに沢山います。沢山のメリットがあると思います。まずは自分がとても幸せです。何故かというと 25 歳の一人娘がいて、オックスフォード大学卒業の年に震災だったのです。本当に良い子に育ってくれて、彼女の友達のご両親達も皆私達の活動を応援して下さっているんです、イギリスから。幸せな母親、母親だからマリアちゃんも抱きしめてあげる

ことができる。日本のロータリーアンは男性が多いんです。イギリスは大体 3 分の 1 が女性です。ロータリーアンの男性が多いんですけれども、これを支援しているのは女性のロータリーアンが中心になっていますので、是非、日本の男性のロータリーアンからも応援隊として、ご一緒に自分の国の子供達の為に活動していきましょうという事を伝えたく、イギリスから来ました。それから、子供達と会う為です。

講演をすますと、「お金が幾らぐらい集まっているんですか」とか、「これからどうやって、やって行くんですか」、そういう質問には答え易いのです。私達の目標は来年の夏また葉山で合宿します。もし、日程を知って頂いたら是非助けて頂いて、車を出して頂くことによって、子供達はロータリーアンに会えます。そこでロータリーアンの方達も孤児達の顔が分かります。「どういう状況なの」と聞いて、将来人生のアドバイザーになれると思います。その子供はお母さん、お父さんがいないので、誰にも相談することが出来ない訳ですから。子供達の事を考えると何か私達ができるということです。

どうかご支援をお願い致します。

次回例会 12 月 10 日 (水)
会員卓話 大藪 会員
クラブ会報委員会

中村 孝/増田 昌美/牛山 裕子/内田 省治
永松 慎太郎/竹中 裕彦/水口 衛/須山 文夫

スケジュール予定

12 月 10 日 (水) 会員卓話

12 月 17 日 (水) 移動例会
年忘れ家族会 横浜ベイシェラトン

